

## 千葉支社での現業機関における柔軟な働き方の実現

## 2022年3月ダイヤ改正

## 武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編

## 駅運営体制の見直しについて 提案される!!

地本は本日（12月22日）千葉支社より、現業機関における柔軟な働き方の実現、2022年3月ダイヤ改正、武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編及び駅運営体制の見直しについて提案を受けました。提案の概要は以下のとおりです。関係職協、分会は提案内容を検討し、職場要求等の集約をお願いします。

## 1 千葉支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について

社会の急速な変化を踏まえ、グループ経営ビジョン「変革 2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを越えて新たな価値の創造を一層推進していく。社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させることを目的とし、これまでの役割分担にとらわれない柔軟な働き方を実現するために、木更津統括センターを新設する。

(1) 実施内容 「木更津統括センター」を現業機関として新設する。

(2) 実施期間 2022年3月12日（土）

(3) 要員関係

現在

(乗務員)

(総数 79)

		変形等	交代	日勤	泊	計	記事
木更津駅	管理	9	1			10	
木更津駅	一般	1	5			6	
君津駅	管理	2	1			3	
君津駅	一般	1	2			3	
久留里駅	管理	1				1	
久留里駅	一般	1	1			2	
久留里駅(横田)	管理						
久留里駅(横田)	一般		1			1	
木更津運輸区	管理	5	2			7	
木更津運輸区	一般	5		21	20	46	

改正後

(乗務員)

(総数 80)

		変形等	交代	日勤	泊	計	記事
木更津統括センター	管理	17	4			21	
木更津統括センター	一般	8	9	21	21	59	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

## 2 2022年3月ダイヤ改正等について

2022年3月ダイヤ改正における千葉支社の主な実施内容は、

- ・ 成田エクスプレスの利便性向上
- ・ 平日朝通勤時間帯の「さざなみ」の着席サービス向上
- ・ 「しおさい」「さざなみ」「わかしお」の指定席拡大
- ・ 成田線 成田～佐原間の一部列車にてワンマン運転実施
- ・ ご利用状況にあわせた平日の輸送体系見直し
- ・ 内房線の朝通勤・通学時間帯の輸送体系変更

等であり、これにあわせて乗務員関係区所の乗務行路を見直す他、諸施策を実施することとする。

■ ダイヤ改正規模（速報値）…………… ▲991.3 キロ

(1) 乗務行路数を踏まえた要員体制の見直し

実施箇所 習志野運輸区、佐倉運輸区、蘇我運輸区、木更津統括センター

(2) 臨要員の見直し

実施箇所 千葉運輸区、蘇我運輸区

(3) 成田エクスプレスの行先見直しを踏まえた乗務線区の見直し

実施箇所 佐倉運輸区

(4) 乗務員の業務等の見直しに伴う労働時間の見直し

実施箇所 全乗務員区所、木更津統括センター

(5) 成田線(成田～成田空港間) 列車防護係員省略区間の拡大

(6) 要員関係

現在

		変形等	交代	日勤	泊	計	記事
習志野運輸区	管理	6	3			9	
習志野運輸区	一般	9		58	42	109	
千葉運輸区	管理	7	2			9	
千葉運輸区	一般	12		38	55	105	
佐倉運輸区	管理	6	2			8	
佐倉運輸区	一般	8		33	42	83	
蘇我運輸区	管理	6	2			8	
蘇我運輸区	一般	7		36	43	86	

改正後

		変形等	交代	日勤	泊	計	記事
習志野運輸区	管理	6	3			9	
習志野運輸区	一般	9		56	42	107	
千葉運輸区	管理	7	2			9	
千葉運輸区	一般	12		39	54	105	
佐倉運輸区	管理	6	2			8	
佐倉運輸区	一般	8		33	39	80	
蘇我運輸区	管理	6	2			8	
蘇我運輸区	一般	7		30	43	80	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

- (7) 諸元（速報値）
  - ① 車両配置両数・・・・・・・・・・略
  - ② 形式別車両キロ・・・・・・・・・・略
  - ③ 乗務員乗務キロ及び労働時間・・・・・・・・略
  - ④ 準備時間一覧・・・・・・・・・・略
- (8) 実施時期  
2022年3月12日（土）
- (9) その他  
必要な教育・訓練等は実施する。

### 3 武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について

武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について、安全・安定輸送のさらなるレベルアップを図るとともに、効率的な業務執行体制を実現することを目的に西船橋運輸区(仮称)を設置する。なお、実施内容については以下のとおりである。

- (1) 内容
  - ・西船橋駅近傍に「西船橋運輸区(仮称)」を設置する。
  - ・蘇我運輸区京葉派出所を廃止する。
- (2) 実施時期  
2024年度 下期  
※具体的な実施日は、決定次第お知らせする。
- (3) その他
  - ・八王子支社東所沢電車区が担当している武蔵野線・京葉線運転士業務の一部について、東所沢運輸区(仮称)の発足にあわせ、千葉支社に移管する。
  - ・大宮支社さいたま車掌区が担当している武蔵野線・京葉線車掌業務の一部について、西船橋運輸区(仮称)の発足にあわせ、千葉支社に移管する。
  - ・西船橋運輸区(仮称)の設置にむけ、必要な準備等を行っていく。

### 4 駅運営体制の見直しについて

「変革 2027」「駅の変革」のスピードアップの実現に向けて、効率的で生産性の高い業務執行体制の構築を目的とし、以下の施策を実施する。

- (1) ホーム体制の見直しに伴う体制変更
  - ①実施箇所 西船橋駅
  - ②実施時期 2022年3月1日（火）
  - ③要員関係  
現在

		変形等	交代	計	記事
西船橋駅	管理	3	2	5	
西船橋駅	一般	2	15	17	

改正後

		変形等	交代	計	記事
西船橋駅	管理	3	2	5	
西船橋駅	一般	1	14	15	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

(2) 窓口閉鎖に伴う体制変更

- ①実施箇所 小岩駅、本八幡駅
- ②実施時期 2022年3月1日(火)
- ③要員関係  
現在

		変形等	交代	計	記事
小岩駅	管理	1	1	2	
小岩駅	一般	2	3	5	
本八幡駅	管理	1	1	2	
本八幡駅	一般		4	4	

改正後

		変形等	交代	計	記事
小岩駅	管理	1	1	2	
小岩駅	一般		3	3	
本八幡駅	管理	1	1	2	
本八幡駅	一般		3	3	

※ 業務の繁閑等に応じて1日当りの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※ 上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

(3) その他

必要なし周知等は実施する。

説明事項として(要員変更がないから提案ではないという会社スタンス)

【営業関連】

(1) 窓口閉鎖を実施する駅について

- ①実施箇所 君津駅
- ②実施時期 2022年3月4日(金)

【運輸関連】

(2) 委託業務の一部見直しについて

- ①対象業務 銚子駅・安房鴨川駅構内で施行する仕業検査・銚子駅における入出区作業
- ②実施時期 2022年3月12日(土)

※今回から標準数の考え方が変更されています。本社が本部に対し説明実施。

地本も支社から説明を受けたが、従来通りの標準数提示を要求したが、回答されず。(上記の通り)  
(1年を通しての一日の平均作業量から一日当たりの必要要員が標準数らしい。特休・公休・年休・研修等の要員は反映されていない。一日の必要出面と考えられる。また※記載にある様に作業量により出面を変更することも可能とされている)

以下、提案時の主なやり取り

(組合) 標準数の考え方が変更になっているが、どの様に解釈すれば良いのか。

(会社) 働き方改革等により、総体の人数ではなく、一日の必要出面数で表すこととした。職場によっては、短時間勤務者なども存在しているため馴染まないことから変更した。

(組合) 一日の最低出面と考えて良いのか。

(会社) その通りである。

(組合) 乗務員は行路・交番により、出面数が決定するが、柔軟な働き方・作業ダイヤによらない働き方では仕事量が曖昧であり、要員の根拠としては乏しいのではないか。また乗務員の予備の考え方について明らかにして欲しい。

(会社) 標準数に予備は入っていない。

(組合) 乗務員の予備の活用についてはどの様に考えているのか。

(会社) 具体的には決まっていないが、地域の特情なども踏まえ活用することになる。

(組合) 指定された行路の中で他の業務を行うことはあるのか。

(会社) 無いとは言えないが、短時間行路のその他時間で改札などの活用はあると思う。新しい事や企画業務、改札業務なども行っていきたいが時間がかかると考えている。

(組合) 乗務員が駅の仕事途中に突発的に乗務につくことはあるのか。

(会社) 無いとは言えないが、直ぐにスタートとはならない。また乗務となるとアル検なども必要となる。将来的には考えたいが。

(組合) 木更津統括センターの建物はどこに出来るのか。

(会社) 新しい建物は出来ない。木更津駅や君津駅などはそのままである。統括センターは現業機関であるが、建物は無い。

(組合) 木更津駅長室が統括センター長室ということか。では木更津運輸区はどの様な立ち位置になるのか。

(会社) 木更津統括センター乗務員詰所的な扱いとなる。

(組合) 会社資料では今日はA駅、明日は乗務員、次はB駅企画業務的な凡例が示されているがそんなに毎日違う業務を行わせるのか。自宅からの直行直帰となるのか、または一度木更津駅に出勤するのか。

(会社) 具体的なものは決まっていない。

(組合) ほぼ何も決まっていない状態での提案である。器は作るが詳細が見えない。当面は現在の仕事・役割を行っていくという理解で良いか。

(会社) 出来るところから実施していく考えである。

#### ダイヤ改正について

(組合) プレス発表では成田エクスプレスの千葉駅停車を大幅に増やす。千葉以西は運転本数を減らし、一部通勤快速を快速や各駅停車にする。成田～佐原間で2往復のワンマンの導入と理解している。では千葉以東の本数はどうなるのか。

(会社) 以東については増減が無いが、木更津発7時03分の「さざなみ4号」を新設するが、従来の君津発8時10分発の「さざなみ6号」を廃止する。

(組合) 利用状況が悪いのか。

(会社) 悪いわけではないが、より通勤時間帯に近づけたため利便性があがると思っている。

(組合) 特急の指定席が拡大されるが、この間の議論で自由席が混雑していて、結果乗務員が販売する機会が多くなっているとの声も届けてきた。お客様への周知をお願いしたい。また5両で3人乗務で車内改札を実施しているが、日・曜日によっては回り切れないこともある。5両だから2人で良いという判断はしないで欲しい。

(会社) お客様周知はパンフ等を入れるなど工夫して引き続き努力していく。

(組合) 特別企画乗車券が販売終了されるものがあり、結果割高になるものもある。苦情を言われるのは現場の人間である。こちらも周知をお願いする。

(会社) お客様周知を図っていく。

(組合) 千葉発6時31分の上総湊行きが8両だったが、今度は君津から2両になる。通学時間帯だが大丈夫か。

(会社) 車両の運用上この様な設定となった。

(組合) この間在宅休養時間が確保されない行路の改善を求めてきた。本社もさらに拡大を指示している。今回のダイヤ改正で改善されることを期待する。

(会社) 在宅休養時間の確保に努力している。引き続き改善に向け検討していく。

#### 武蔵野線・京葉線の乗務員基地再編について

(組合) 乗務員基地再編の計画の詳細は。

(会社) 東所沢運輸区設立が23年、西船橋運輸区が24年度末を予定している。

(組合) 担当線区は。

(会社) 武蔵野線と京葉線となるが詳細はまだである。武蔵野線は東京～府中本町、京葉線は東京～蘇我を予定している。詳細が決まり次第お知らせする。

#### 駅運営体制の見直しについて

(組合) ホーム体制の見直しの詳細は。

(会社) 乗降終了合図の一部見直しとホームドア設置に伴う見直しである。

(組合) 10月に営業時間の見直しで△3を行っている。そして今回である。ホームドアが付けば人が減るのか。

(会社) ホームドアだけでは削減しない。以前の分と合わせての提案となっている。

(組合) 小岩と本八幡の窓口閉鎖であるが、発券枚数は。

(会社) 日に300枚程度であるが、券売機で買える物が多い。

組合) 払い戻しや変更など有人箇所に行かなければならない時もある。日常的に使用している人は問題ないが、普段使わない人や初めて使う人は苦勞する。そこを考えて欲しいとこの間伝えてきた。どうするのかということである。

(会社) モバイルやネット販売、チケットレスを進めている。しかしそこも考えていかなければならないも理解はする。引き続き検討していく。

(組合) 業務知識も低下する一方である。ジパングや休日倶楽部にも対応できない状況も報告されている。

(会社) 回りのバランスや駅の条件なども見ながら進めていく。また分かり易いシステムなども考える必要があるとは思っている。

以 上